愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	キャリアプランニング		
担当者(Instructors)	小川 現樹	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

キャリアを形成するには、産業構造を理解し、自らがその分野・領域で社会生活を営んでいくのかを選択する必要がある。3年生前期にはインターンシップという貴重な機会を控え、それ以前に自らの方向性を定められることを目標とし、日本国内における産業構造の知識と理解を深めることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)		
授業形態(Class form)		
授業の方法(Class method)	※座席指定があります。 講義・個人でのワークを交えて実施します。 最低限のマナーとして、講義中の私語、携帯端末の無断利用、入退室は原則禁止します。 (ワーク中の意見交換は大いに行ってください。)	

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)				
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分 (Media)	
第1回	オリエンテーション・インターンシッ プの概要	授業の取り組み方と内容の確認・インターンシップの概要ついて学 ぶ		
第2回	業界・業種・企業・職種を知る	厚生労働省「日本標準産業分類」と「jobtag」を用いて産業構造の 理解を進める		
第3回	職業選択と世の中の仕事	日本国内においての職業に対する理解を深める。そのなかでいかに 仕事を選択するのかを考える。		
第4回	ナビサイトを活用した企業検索①	株式会社マイナビより講師をお招きして、インターンシップ参加に 向けての準備を実施いたします。(内容については変更される場合 があります)		
第5回	業種研究①(製造①)	電子・電気・0A機器、輸送用機器、鉄鋼・金属等の製造業について の理解とビジネスモデル研究		
第6回	業種研究②(製造②)	食品、アパレル、建築、住宅・インテリア等の製造業についての理 解とビジネスモデル研究		
第7回	業種研究③(商社)	総合商社、専門商社についての理解とビジネスモデル研究		
第8回	業種研究④(小売)	さまざまな業態(専門店、百貨店、GMS、食品スーパー等)につい て の理解とビジネスモデル研究		
第9回	業種研究ふりかえり、職種と適性につ いて	これまでのサプライチェーンを中心とした学びの振り返り。働く 人々の仕事内容と自身の適性についての研究		
第10回	業種研究⑤(金融)	銀行、証券、リース等についての理解とビジネスモデル研究		
第11回	業種研究⑥(サービス・インフラ①)	ホテル・テーマパーク・旅行等についての理解とビジネスモデル研 究		
第12回	業種研究⑦(サービス・インフラ②)	電気・ガス・道路等についての理解とビジネスモデル研究。あわせ て運輸と倉庫についても言及します。		
第13回	業種研究⑧(情報・通信)	通信キャリア、各種ソフトウェアメーカー・ベンダーについての理 解とビジネスモデル研究		
第14回	ナビサイトを活用した企業検索②	株式会社リクルートより講師をお招きして、インターンシップ参加 に向けての準備を実施いたします。(内容については変更される場 合があります)		
第15回	まとめと次年度に向けての取り組み	3年次でのインターンシップ参加に向けて、これまでのまとめと自 身の方向性を検討する		

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習:各テーマについてのニュース・新聞・ビジネス雑誌等を予習すること。(2時間) 事後学習:各テーマについて、具体的にどんな企業があるのか、そこで働く場合の必要な能力や行動を考え積み重ねる。(2時間)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

Teamsの活用:レポートについて、添削・採点の後返却いたします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division) DP区分(DP division) 内容(DP contents)		内容(DP contents)
知識・技能		インターンシップ参加にむけての基礎的な知識について理解することができる思考 カ・判断力・表現力を得る
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	自身の将来を主体的に考え、表現し、行動できる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in- class exam)	その他(Other)
		50%		50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他:授業内で指示したレポートや提出物、授業に対する取り組み姿勢。

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内または授業後の配布(Teams配布、手渡し配布の場合もあり)	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)			
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)	
1	親子のための就職学 親バカはいいけど、バカ親になるな!(株式会社流行発信 2015)	978-4890402670	
2			
3			
4			
5			